

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2024年2月15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」富田校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			パーテーションで間仕切りをし、個別の適切なスペースを作っている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			法令を遵守した配置である。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		子どもが安全に過ごせるように配置や設備など配慮していく。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			共有ファイルを使って、進捗状況や随時確認できるように進めている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			頂いた意見をもとに、検討、改善している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			事業所内で閲覧できるようにし、ホームページでも公表している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在は利用者・社内の二者評価を取っている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			ZOOM を使用した定期研修や外部研修を受講している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントを適切に行い、ニーズ・課題を分析して作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			会社共通のツールを使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			児童発達支援計画をチームで話し合い作成している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			児童発達支援計画をチームで話し合い作成している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			1日1時間のうち、療育支援45分、振り返り15分なので、平日・休日関係なく課題に応じた支援を行っている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別対応が主であるが、子どもの状況に応じて、集団 SST を取り入れている。

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝のミーティングを実施している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			必要に応じて終業前にミーティングを実施している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の支援記録をとり、検証・改善につなげている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6ヶ月以内に1回以上、モニタリングを実施している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			複数組み合わせ、支援を実施している。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			サービス担当者会議には基本担当指導員が参加するようにしている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		必要に応じて連携している。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	該当なし
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	必要に応じて連携している。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	今まで該当者はいなかったが、該当者がいれば情報共有していく。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			必要に応じて連携し、研修にも参加している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	個別療育のため交流活動の機会は設けていないが、要望があれば検討する。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	市内の同じサービス事業者の会に積極的に参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			日々の振り返り時に行っている。

	⑲	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			日々の振り返り時に保護者へのアドバイスを行っている。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に丁寧に説明している。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			日々の振り返り、およびモニタリング時に相談に応じている。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			2022年12月から2・3カ月に一度保護者会を開催している。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			相談や申し入れがあった時には迅速に対応している。
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			LINEにて情報を発信している。
	㉕	個人情報に十分注意しているか	○			鍵付き書庫で管理している。
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			障がい配慮して意思疎通の工夫を行っている。
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	地域連携について今後検討していく。
非常時等の対応	㉘	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各種マニュアルを作成し、職員・保護者に周知している。
	㉙	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月様々な状況の訓練を行っている。
	㉚	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止委員会を設置し、毎月研修を行っている。
	㉛	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			契約時に説明をし、やむを得ず身体拘束を行う場合は個別支援計画に記載する。
	㉜	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	食事の提供はないが、契約時にアレルギーの有無について確認している。

43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットを小さな状況でも作成し共有できるツールを作成している。
----	----------------------------	---	--	-----------------------------------

## 保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2024年2月15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」富田校

保護者等数（児童数）：53 回収数 38 割合：71.7%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	32	6		体を動かす時は、少し狭いと感じる。 ※パーテーションで間仕切りをし、個別の適切なスペースを作っている。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	35	3		小学校教諭や心理士が多いと安心する。子どもの特性を知った上で、対応してもらえているので安心である。 ※支援室に職員の紹介を掲示している。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	21	14	3	入り口の階段。 ※子どもが安全に過ごせるように配置や設備などを配慮していく。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	38			今後も、支援方法や内容の工夫に努め支援の向上を図っていく。
	⑤	活動プログラム <sup>II</sup> が固定化しないよう工夫されているか	38			毎回色々なプログラムを考えて下さっていて助かる。 ※今後も、お子様の発達状況や特性に合わせた関りの中で、隠れている力を引き出せるように職員のスキルを磨いていく。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	11	17	10	コロナもあり、難しいかもしれないが集団のSSTを取り入れてほしい。 ※今後、検討していく。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	38			常に丁寧な説明を心掛けている。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	37	1		気付きを大切にしている。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	38			
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	30	7	1	親だけの相談会や集まる機会を設けてほしい。 ※2022年12月から2・3か月に一度保護者会を開催している。

	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	29	9		相談や申し出があった場合は迅速に対応している。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	36	2		他の保護者と先生とのやり取りが聞こえることがある。 ※声のボリュームを調整する。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	38			LINE にて情報を発信している。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	38			鍵付き書庫で管理している。
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	35	3		
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	35	3		訓練されている事を掲示されている。 ※毎月様々な状況の訓練を行っている。 今年度は消防職員による消防勉強会を行った。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	38			その日の気分に左右されることもある。ものすごく楽しみにしている。先生との信頼関係ができています。 ※今後もお子様にとって楽しい場所・心地の良い場所を提供していきたい。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	38			今後もお子様の個性を理解し、お子様に寄り添った支援を提供出来るように努めていきたい。

放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。

放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。